

施策名：豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

事業名	担当課・室名	ページ
生物多様性保全推進事業(旧おおいた生物多様性保全・普及啓発事業)	自然保護推進室	1 / 6
おおいたジオパーク推進事業	自然保護推進室	2 / 6
祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	自然保護推進室	3 / 6
(公)海岸保全事業(河川)	河川課	4 / 6
(公)港湾環境整備事業	港湾課	5 / 6
県営都市公園施設整備事業（県営都市公園長寿命化対策事業）（県営都市公園施設整備事業）	公園・生活排水課	6 / 6

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	生物多様性保全推進事業(旧おおいた生物多様性保全・普及啓発事業)		事業期間	平成29年度～平成 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～						
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造								
総合評価	A		継続・見直し		事業実施課(室)名	自然保護推進室					評価者	自然保護推進室長 橋本 昌樹	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	豊かな自然に恵まれた本県でも、開発等による土地利用の変化や外来種による生態系への被害など、生物多様性の危機は進行している。また、生物多様性の保全の必要性への県民理解は不十分である。 本県の豊かな自然を将来につなぐため、平成28年3月、「第2次生物多様性おおいた県戦略(2016-2020)」を策定した。	事業の目的	本県の豊かな自然や生物多様性の恵みを将来にわたり享受していくため、「第2次生物多様性おおいた県戦略(2016-2020)」に基づき保全施策を実施する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①持続可能な自然保護の推進 おおいた保全地域検討委員会の開催(2回) 自然保護啓発エコツアーの開催(1回) 自然保護団体の研究発表会の開催(1回)	①	4,397	総コスト	27,223	24,142	31,006
	②	1,558	事業費	7,223	4,142	11,006
	③	547	(うち一般財源)	4,167	2,492	8,383
②希少野生動植物の保全対策 希少野生動植物の保全活動を行う団体への支援(3団体)	④		人件費	20,000	20,000	20,000
③特定外来生物の防除対策 アライグマ担当者会議の開催(1回)	計	6,502	職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	おおいた保全地域検討委員会の開催数(回)	目標値		2	2	2		68%	アライグマ担当者会議の開催数(回)	目標値		1	1		
実績値			2	2											
達成率		100.0%	100.0%												
希少野生動植物の保全事業の支援団体数(団体)	目標値			3	3		24%		目標値						
	実績値			3											
	達成率		100.0%												

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
いきものログ累計登録件数(件)	目標値			560	840		a	県やNPOなどが実施した生物多様性の保全に係る活動などにより、希少な野生動植物の保護や外来種の駆除に関する取り組みの推進を図ることができた。また、生物多様性への県民の理解が深まったことで、環境省が運用する国内のいきもの情報を収集・共有するシステムである「いきものログ」にも県内に生息する多様ないきもの情報が登録された。
	実績値			599				
	達成率		107.0%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 次世代へ残したい地域の選定及び保全に向けた県民意識の醸成 自然保護活動への県民理解の向上及び活動団体のネットワークづくり 特定外来生物(アライグマ)の防除対策 希少野生動植物データの整理 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 次世代へ残したい地域の選定及び普及啓発 自然保護団体の活動状況報告会の開催等による交流の場の提供 特定外来生物(アライグマ)の防除体制の整備 希少野生動植物データベースの整備 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	おおいたジオパーク推進事業		事業期間	平成23年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～	
					施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	自然保護推進室	評価者	自然保護推進室長 橋本 昌樹	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	学術研究の充実や情報発信の強化、ガイド養成・スキルアップへの対応等、日本ジオパーク認定の際に助言された課題の解決及び平成29年度の再認定審査に向けた体制や基盤整備が課題となっている。(H29年12月再認定決定)	事業の目的	本県に多数存在する学術的価値が高い貴重な地形・地質遺産を地域資源として活用するジオパーク活動を持続可能な取組とし、地域の活性化を図るため、情報発信や、姫島・豊後大野の活動支援を行う。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①再認定を目指す両地域の支援 県内・県外教育交流事業の実施、ガイドの養成、解説板等の整備、再認定審査対応等への支援	①	8,000	総コスト	34,744	39,168	40,000
②ジオパークの情報発信	②	6,000	事業費	14,744	19,168	20,000
ジオシンポジウムの開催(共催)、アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)シンポジウムへの参加、日本ジオパークネットワーク(JGN)関係事業への参加等	③	6,000	(うち一般財源)			
③地域資源(動植物、地質鉱物)の調査 県内の貴重な動植物・地質鉱物について調査を行い、天然記念物としての学術的価値を検討 委託先：九州建設コンサルタント(株)	④		人件費	20,000	20,000	20,000
	計	20,000	職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	ジオガイド養成講座開催(回)	目標値	28	28	28			40%	天然記念物緊急調査指導委員会開催(回)	目標値	2	2	2		
	実績値	48	31					実績値	2	2					
	達成率	171.4%	110.7%					達成率	100.0%	100.0%					
ジオシンポジウム等開催(回)	目標値	3	3	3			30%	目標値							
	実績値	3	2					実績値							
	達成率	100.0%	66.7%					達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
ジオガイドの活動回数(回)	目標値	48	66	90			a	平成29年度の再認定決定や様々な情報発信等により、姫島・豊後大野両地域のジオパーク活動が認知され始めたことから、ジオツアー等でのジオガイドの活動の機会が増えてきており、来訪者の受入体制の充実が図られた。
	実績値	83	104					
	達成率	172.9%	157.6%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・姫島、豊後大野両地域と連携した持続可能なジオパーク活動の充実・強化 ・ジオシンポジウムの内容・あり方等多様な企画の検討・支援 ・ガイドの養成やスキルアップ、ガイド組織等受入体制の整備 ・再認定審査で指摘された事項への対応 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> ・姫島、豊後大野両地域でのジオパーク活動が持続可能なものとなるよう、受入体制整備等の支援を実施 ・学術研究者や地質愛好家等にジオパークの魅力を間断なく情報発信 ・再認定審査で指摘された、ジオパーク来訪者に対する受入体制整備や調査研究のアウトプット等の改善に向けた支援 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業		事業期間	平成26年度～平成 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～			
	A			事業実施課(室)名	自然保護推進室		施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価	継続・見直し				評価者	自然保護推進室長 橋本 昌樹				

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	祖母・傾・大崩山系及び周辺地域がユネスコエコパークに登録され、自然環境調査の促進や周知活動を行った。一方で調査研究体制の希薄さ及びユネスコエコパークの認知度の向上、ブランドネームを活用した地域活性の取組等が課題となっている。	事業の目的	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録を契機として祖母・傾地域の豊かな地域資源に改めて目を向けるきっかけをつくり、環境保全に資する研究・活動の推進、自然と共生した地域の振興を図るため、情報発信や地域活性化に向けた取組を進める。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①大分県ユネスコエコパークオフィシャルアーティストを活用した情報発信 オリジナルプロモーションビデオ制作 オールシーズン用(30秒Ver、1分Ver、3分Ver)、登録イベント用(3分Ver) 登録記念イベント(9月9日DRUM TAO特別公演) 国内外へ向けての周知 委託先：(一財)TAO文化振興財団	①	20,000	総コスト	13,166	35,070	27,696
	②	6,237	事業費	3,166	25,070	7,696
	③		(うち一般財源)			
②祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会事業 推進協議会関係経費(大分県協議会2回、両県協議会2回、両県学術委員会2回) 広報周知活動経費(シンポジウム開催、ロゴマーク制作、普及啓発グッズ等制作)	④		人件費	10,000	10,000	20,000
	計	26,237	職員数(人)	1.00	1.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	国内外のイベント等で情報発信(件)	目標値			20	5		76%	目標値						a
実績値				20			実績値								
達成率				100.0%			達成率								
普及啓発イベントの開催(回)		目標値		2	3	2	24%	目標値							
		実績値		2	3			実績値							
		達成率		100.0%	100.0%			達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
シンポジウム参加者数(人)	目標値		200	250	250		a	ユネスコエコパークへの登録が決定した。また、登録決定記念シンポジウムを開催することで、登録決定の周知及び自然環境の保護・保全に向けた取組並びに地域活性の取組の機運醸成を図った。
	実績値		250	270				
	達成率		125.0%	108.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 貴重な生態系の持続的な保全 自然と共生した持続可能な発展 学術的研究や調査研修への支援 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> ユネスコエコパークエリア内の研究調査体制の充実、実態調査データの蓄積 ユネスコエコパークの知名度向上、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの地域資源等の情報発信の強化 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

繰越がある場合用 別紙2-9

事業名	(公) 海岸保全事業 (河川)	事業期間	昭和 31 年度～平成 31 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
			施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価		事業実施課 (室) 名	河川課		評価者	河川課長 後藤 利彦

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	近年、強烈な台風による越波や飛沫が発生し、海岸保全施設の被害及び海岸に隣接した重要幹線道路の通行止め等が発生している。また、台風や集中豪雨により発生したごみや流木が漂着し、安全で快適な海岸利用の支障となっている。	事業の目的	海岸及び海岸に隣接した重要幹線道路の高潮やうねりからの防護及び海岸利用者に安全で快適な海岸利用環境を提供するため、海岸保全施設の整備を行う。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		コスト	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
① (公) 海岸環境整備事業 安岐海岸：浜アクセス箇所にて緩傾斜護岸工実施 (1基)、国道213号沿いに飛砂対策工実施 (L=820m)		総コスト	75,247	19,415	131,921
		事業費	75,247	19,415	131,921
		(うち一般財源)	5,047	878	7,588
		(うち繰越額)	18,975		64,274
		人件費			
		職員数 (人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成 (31年度)	評価	事業の成果
	計画施設延長 (m)	目標値	13,286	13,736	13,866	14,110		
	実績値	13,286	13,286					
	達成率	100.0%	96.7%					

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

繰越がある場合用 別紙2-9

事業名	(公) 港湾環境整備事業	事業期間	平成 2 1 年度～平成 3 1 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
			施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価		事業実施課(室)名	港湾課		評価者	港湾課長 野口 孝則

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地域住民等が港湾や水に親しむことができる緑地等施設の整備率は依然として低い。また、近年は地域住民の環境保全に対する意識が高まっており、環境に配慮した緑地等施設の整備を着実に進めることが課題である。	事業の目的	地域住民等が港湾や水辺空間に親しみ、港湾の賑わい空間の創出を図るため、港湾区域内の環境を改善し、地域住民等の憩いの場としての緑地等施設の整備を行う。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
① (公) 港湾環境整備事業 別府港 : 緑地等施設整備予定箇所の埋立及び照明設備工事を実施		総コスト	407,211	49,093	84,637
		事業費	407,211	49,093	84,637
		(うち一般財源)	20,015	1,941	3,914
		(うち繰越額)	96,885		9,558
		人件費			
	職員数(人)				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成 (31年度)	評価	事業の成果
	実績値	25.1	25.1					
	達成率	100.0%	100.0%					

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

繰越がある場合用 別紙2-9

事業名	県営都市公園施設整備事業 (県営都市公園長寿命化対策事業) (県営都市公園施設整備事業)	事業期間	昭和 63 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価		事業実施課(室)名	公園・生活排水課	評価者	公園・生活排水課長 島津 恵造

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県営都市公園は建設から相当の期間が経過し、施設の老朽化が進んでいる。一方、利用者の公園に対するニーズは多様化しており、快適で安全安心に利用できる公園の整備が課題である。	事業の目的	県営都市公園利用者の安全性、快適性の向上を図るため、施設整備を実施する。公園施設の安全性確保や施設の延命化、ライフサイクルコスト削減を目的に策定した『公園施設長寿命化計画』に基づき、更新時期を迎えた公園施設の計画的な更新を実施する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①(公) 県営都市公園長寿命化対策事業 大洲総合運動公園 テニスコートB照明更新 テニスコート実施設計 等 高尾山自然公園 遊具更新 大分スポーツ公園 大分銀行ドーム音響更新 長寿命化計画策定調査(2巡目調査：大分スポーツ公園) ②県営都市公園施設整備事業 RWC2019に向けた総合競技場の整備【天然芝張替 天然芝強化策検討 トイレ改修 等】 県営4都市公園施設補修等【硬式野球場グラウンド打起し、照明制御システム取替、汚水処理施設改修、放送設備更新 等】	総コスト	536,657	470,527	1,311,310
	事業費	536,657	470,527	1,311,310
	(うち一般財源)	54,435	187,969	51,566
	(うち繰越額)	100,002	9,173	26,000
	人件費			
	職員数(人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
	施設利用者数(千人)	目標値		2,035	2,035	2,035			
		実績値		1,831	1,650				
		達成率		90.0%	81.1%				

高尾山自然公園において、公園利用者の年齢層、利用目的及び遊具利用状況等のアンケート調査を行い、公園利用者のニーズを反映させた遊具の更新を実施した。今後も様々なニーズに応えるため、県民の声の適切な把握に努め、必要な公園施設を整備していく。

[平成29年度実績]

県営都市公園長寿命化対策事業(現年)

(単位：千円)

公園名	内容	実施工事費
大洲総合運動公園	テニスコートB照明更新、 テニスコート実施設計	29,099
高尾山自然公園	遊具更新	32,424
大分スポーツ公園	大分銀行ドーム音響更新 長寿命化計画策定調査	187,906

県営都市公園長寿命化対策事業(繰越)

公園名	内容	実施工事費
大分スポーツ公園	大分銀行ドーム 照明施設更新	9,173

県営都市公園施設整備事業(現年)

(単位：千円)

公園名	内容	実施工事費
大洲総合運動公園	野球場グラウンド打起、バックスクリーン裏 便所屋上防水工事、整流器部品取替、バック ネット取替、照明制御システム取替、コンセ ント配線補修	26,602
ハーモニーパーク	第1電気室VCB保護装置交換、汚水中継ボ ンプ交換、汚水処理施設流調槽改修検討	16,392
大分スポーツ公園	放送設備更新、トイレ改修、天然芝張替、天 然芝強化策検討業務	156,338